

イ 学校関係者評価結果等

<p>学校関係者評価を実施した 主な評価項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導における授業改善の推進及び家庭学習の充実を図る。 ・「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの早期発見・早期対応に取り組む。 ・在校時間等の状況記録の結果を活用し、業務の適正化を図るとともにストレスチェックの結果の活用や高ストレス者に対する医師の面接指導を通じて教職員の適切なメンタルヘルスの保持に努める。
<p>自己評価結果について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の工夫と改善及び家庭学習習慣の確立に対する具体的方策とその評価はおおむね適切である。また、生徒へのアンケートをもとにした評価も適切である。 ・基本的生活習慣の確立における方策はおおむね適切に実施されている。また遅刻数・欠席数等の月別データ、交通事故件数のデータ、生徒へのアンケートをもとにした評価も概ね適切であるが、欠席、交通事故件数の増加には注意を払いたい。 ・重点目標についての共通理解を深め、その実現に向けて全教職員がチームとして取り組み、組織としての教育力を向上させる必要がある。 ・SCの利用が増加傾向にあり、悩みを抱える生徒が増えてきている。教員側も敏感に感じ取り対応しているが、さらなるスキルアップに向けた教育相談に係る研修の場を設けていきたい。
<p>今後の改善方策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度に応じた課題の精査などにより、学力に幅がある生徒層に対応し全体を伸ばす指導法を工夫していく。 ・アンケートや調査の結果を有効に活用し今後の教育活動につなげ、成果が目に見える形になるよう工夫していく。 ・生徒の学力向上のため授業参観週間等を活用するなど、個々の指導力の向上のための研鑽を積んでいきたい。
<p>その他(学校関係者評価委員から出された主な意見、要望)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メリハリのある授業が展開されている。今後もこのような授業をお願いしたい。 ・小中学校でのパソコン配備により、タブレットを活用した授業に習熟した生徒が入学してきている。今以上に授業の在り方や展開の仕方に工夫が必要になると感じるので、ロイロノートの使用などタブレットの有効活用についてタブレットの持ち帰りも含め十分に検討してほしい。 ・高校生と中学生との交流を深める新たな行事(学習支援や部活動の交流)を活性化させていただきたい。
<p>学校関係者評価委員会の構成及び評価時期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・構成・・・学校評議員4名(PTA会長を含む) ・評価時期・・・3月上旬